

2010－2011年 国際競技会選考方法

【フィギュアスケート】

平成 22 年 7 月 30 日
財団法人日本スケート連盟

1 ジュニア・グランプリ派遣選手選考方法

4月に派遣選手選考会を開催して決定する(一部の選手は昨シーズンの実績で選考会免除)。
二戦目は原則として、ファイナルに残る可能性のある4位以内の者を上位から選考する。

2 世界ジュニア選手権大会派遣選手選考方法

全日本選手権終了時に、以下の基準のいずれかを満たす者から総合的に判断して決定する。

- ① 全日本ジュニア選手権3位以内
 - ② ジュニア・グランプリ・シリーズ(含ファイナル)のランキング上位3名
 - ③ 全日本選手権参加者のうちジュニア年齢で派遣希望のある上位3名
 - ④ 全日本終了時点でのワールド・スタンディングのうちジュニア年齢で派遣希望のある上位3名
- 最終選考会である全日本選手権への参加は必須である。

3 シニア・グランプリ派遣選手選考方法

6月中旬のセレクション・ミーティングで決定されるが、事前に選手の希望を聴取する。

4 世界選手権大会代表選手選考方法

全日本選手権終了時に、以下の基準のいずれかを満たす者から総合的に判断して決定する。

- ① グランプリ・シリーズ(含ファイナル)のランキングで上位3名
- ② 全日本選手権3位以内
- ③ 全日本終了時点でのワールド・スタンディングで上位3名

最終選考会である全日本選手権への参加は必須である。

なお、過去に世界選手権6位以内に入賞した実績のある選手が、シーズン前半にけが等で上記の選考対象に含まなかった場合には、世界選手権時の状態を見通しつつ、選考の対象に加えることがある。

5 四大陸選手権

全日本選手権終了時に、以下の基準のいずれかを満たす者から総合的に判断して決定する。

- ① グランプリ・シリーズ(含ファイナル)のランキングで上位6名
- ② 全日本選手権6位以内
- ③ 全日本終了時点でのワールド・スタンディングで上位6名

ワールド・スタンディングのためのポイント獲得を考慮して選考する場合がある。

最終選考会である全日本への参加は必須である。

なお、過去に世界選手権6位以内に入賞した実績のある選手が、シーズン前半にけが等で上記の選考対象に含まれなかった場合には、四大陸選手権時の状態を見通しつつ、選考の対象に加えることがある。

6 ユニバーシアード及び冬季アジア競技大会

全日本選手権終了後に選手を決定するが、JOCへのエントリーの関係で、事前に候補選手を決定しておく必要がある。東西選手権終了時に、特別強化選手・強化選手Aを除く、東西それぞれの男女シニアの上位各5位まで及びジュニアの上位3位までに入った選手、特別強化選手・強化選手A、及び強化部で指定する選手を候補選手とし決定し、全日本選手権大会の成績、ISU選手権大会の派遣等を勘案して派遣選手を決定する。

東西選手権終了時に候補選手とならなかった選手は、全日本で上位になった場合であっても、JOCのエントリーとの関係で派遣選手となることはできない。

7 ワールドチームトロフィー

世界選手権終了後、ISUの定めに従って選手を選考する。

8 その他の国際競技会派遣

ノービス国際競技会については、全日本ノービスの上位選手を選考対象とする。有望新人発掘合宿で選考する場合もある。

ジュニア国際競技会は、ワールド・スタンディングのポイント対象とならないので、原則として派遣しないが、ジュニア年齢で、国際シニア競技会に参加できない年齢の選手を選考することがある。

シニア国際競技会については、事前に参加不可能な競技会を調査した上で、派遣先を決定する。強化選手が希望する場合には、自費参加を許可する場合があるが、自費参加の場合にはブロックおよび東西選手権の免除対象とはしない。

ペア、アイスダンス及びシンクロについては、上記によらず、国際的な競技力を考慮して決定する。

以上、特殊ケースを除き強化部推薦→フィギュア委員会承認→臨時理事会決定とする。